

事例1-6

取組名	公民館組織の見直し及び行事の統合による役員等の負担軽減		
町会名	ほら 洞町会（本郷地区）	町会 データ	・人口／221人 ・世帯数／97世帯 ・高齢化率／42.5% ・町会加入数／73世帯 ・常会数／3常会 ・隣組数／12組
取組概要	○ 公民館組織の見直しを行い、従来の3部体制を1部体制に変更 ○ 町会行事に関する全戸アンケートの結果、運動会を廃止し、夏祭りに一本化		

背景・課題

- ・ 高齢化、世帯数減少、人口減に伴い、従来の公民館3部体制を維持することが困難になっていた。
- ・ R5年度にコロナ禍が明け、数年ぶりに運動会を開催したものの、運動会後に行っていた懇親会がなくなるなど、親睦の機会が減っていた。
- ・ その他の行事についても、参加者の減少や固定化が見られ、事業の見直しが求められていた。

経過・取組内容

- ・ H29年度、役員選出の負担軽減を図るため、公民館組織を3部（教養部・厚生部・体育部）体制から1部（事業部）体制へと変更した。
- ・ また、事業の見直しとして、出展数が少なかった文化祭を休止したほか、「公民館だより」を「町会だより」に移行した。
- ・ さらに、それまで毎年行っていた夏祭りと運動会について、全戸アンケート調査を行った結果、両行事を隔年で交互に実施するものとした。
- ・ R6年度には、運動会開催も負担との声が高まり、検討の結果、R7年度からは運動会を取り止め、夏祭りに一本化することとなった。
- ・ なお、夏祭りの開催費用は、従来、住民からの寄付金で賄われていたが、R7年度から

は町会予算から補助金を支出することで、役員による寄付金集めなどの負担軽減を図ることとした。

成果・今後の展望等

- ・ 公民館組織の見直しにより、役員選出の負担が軽減された。
- ・ また、旧教養部の事業については、若い世代が自主的に決めて取り組む方式になったため、若者の参加促進につながっている。
- ・ 運動会の廃止等により、選手集めなどの負担がなくなり、常会長等の負担軽減にもなった。
- ・ 事業を夏祭りに一本化し、町会内の資源をより集中的に活用することで、住民同士の交流を一層促進していく。



洞町会夏祭りの様子

【ポイント】

- ▼ 公民館組織の見直しや行事の統合により、役員等の負担を軽減